

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針等>

1. 救急医療を主軸として、病気の予防からリハビリテーション、介護までを一貫して Quality of Life の向上を重視した社会の実現を目指す
2. 青雲会の一員であることを誇りに持ち、常に学び努力し、誰もが笑顔で働ける職場を目指す
3. 社会活動を積極的に行い、地域に貢献する
4. SDGs活動を通じて、未来に発展する組織を創る

<今期のSDGsに関する重点的な取組, 指標及び実績>

三側面	取組の状況	前期の指標	実績
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	環境保全について職員の意識向上を図り、コピー用紙の使用枚数削減に努める。	1,171,500 枚 → 20%削減	745,000 枚へ 37%削減
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	人間ドック後の当日結果説明・生活指導の実施割合向上を目指し、病気の予防と早期発見に貢献する。	実施割合を現在の62%→80%へ	62%から77.4%へ 向上
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	育児休業取得率を向上し、働きやすい環境を整備します。	取得率を 78%→85%へ	男女共に 取得率100%を達成

・「取組の状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組の実施状況やと指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

<今期の評価>

コピー用紙の使用枚数について、37%の削減に成功。引き続き使用枚数の削減に取り組んでいく。
 育児休業取得率は目標の85%を大きく上回り、100%を達成した。引き続き取得率維持に取り組んでいく。
 結果説明や生活指導を行う時間帯や方法に検討の余地があった。引き続き受診者に寄り添った健康意識の向上に努めていく。

・SDGsの取組全体について、今期の振り返りや来期の展望などを記載してください。

<次期のSDGs達成に向けての重点的な取組, 及び指標>

三側面	SDGsに関する重点的な取組	指標 (更新時に向けた数値目標)
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	地域住民へ医療、介護を通じて健康増進や介護予防に関する啓発活動を行う	年10回以上の開催
<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 経済	業務の効率化や業務負担軽減を目的に、AI や ICT を積極的に活用し、業務時間短縮を図る。	時間 10%短縮
<input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 経済	職員の健康増進を目的として、希望者が自由に参加できるヨガを定期的で開催する	参加者 30人以上/回

・「SDGsに関する重点的な取組」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

<SDGs達成に向けてのパートナーシップ>

日本資源流通株式会社:機密文書の引き取りを依頼。裁断後の古紙はトイレトペーパーにリサイクルされている。

西日本技能センター:技能実習生の仲介。

Act-Bリサイクリング:パソコンOA機器を回収し福祉団体の手作業によって分解・選別しリサイクルされている。

- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。